

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 1561 号

二酸化塩素含有洗口剤 (Pro Fresh[®]) による口臭抑制効果

(Effect of Inhibition Mouthwash Solution Containing Chlorine Dioxide (Pro Fresh[®])
on Oral Malodor)

澤 政樹 (さわ まさき)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は、口臭の主成分であるメチルメルカプタン、ジメチルサルファイド、硫化水素などの揮発性硫黄化合物(Volatile Sulfur Compounds)への二酸化塩素含有の洗口剤の効果を多人数対象とし客観的に評価した初めての論文である。

口臭の測定には、口臭を主訴として来院された患者 92 名 (コントロール群: 男性 2 名、女性 3 名、年齢 30.8 ± 4.0 歳 洗口剤群: 男性 28 名、女性 59 名、年齢 36.9 ± 1.3 歳) を対象とした。湿度温度の影響を受けにくく、高精度測定が可能な簡易クロマトグラフィー・オーラルクロマを用いて臭気の測定を行い、唾液量の検査とともに判定した。

二酸化塩素含有の洗口剤による、口腔内ガス、呼気ガスの三要素ガスである硫化水素、メチルメルカプタン、ジメチルサルファイドは共に、洗口剤使用後にガスの濃度の減少が認められ口臭レベルの各臭気の有意な減少や、唾液量の有意な増加も認められた。

客観的な指標を用いて洗口剤の効果を明らかにするとともに、本評価方法が今後の臨床における口臭治療効果の評価となりうることを示す貴重な研究である。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。